

0620

| 絵画研究 I

| 4 単位（通信授業 2 単位、面接授業 2 単位）

三浦明範教授、川口起美雄教授、阿部英幸講師、伊藤仁講師、大野彩講師、大家泰仁講師、加藤健二講師、喜井豊治講師、清水健太郎講師、瀬島匠講師、山本明比古講師、吉川民仁講師、米内則子講師

授業の概要と目標

西洋中世からルネサンス期に至るまでの主要な絵画技法であったテンペラ画を中心に、古典技法のフレスコ、モザイクや、中世ゴシック期に花開いたステンドグラスを体験学習することにより、単なる技法の習得に止まらない、素材と表現の在り方を通して造形表現の広がり学ぶ。

通信授業では各技法の基礎と理論を学ぶと共にデッサン及びアクリル絵具、ガッシュ（不透明水彩）による着色をともなったデッサンが課せられる。面接授業では、テンペラ、フレスコ、モザイク、ステンドグラスの4つの技法から1つを選択し、実習を通して学ぶ。

課題の概要

○通信授業課題「古典技法で描く」

1-1 身のまわりの物をモチーフにクロッキーする。

1-2 1-1で行ったクロッキーを基に、着色した画用紙又は色画用紙に、鉛筆と白い描画材（コンテ、パステル、色鉛筆など）でデッサンする。

1-3 植物や樹木あるいは食物をモチーフにクロッキーする。

1-4 1-3で行ったクロッキーを基にアクリル絵具又はガッシュ（不透明水彩）による着色をする。

○面接授業課題「古典技法等の実習」

1-1 「古典技法」等の実習を通して素材と表現の在り方を学ぶ。テンペラ・フレスコ・モザイク・ステンドグラスの4つの表現技法の中から1つを選択し、制作する。

授業計画

[通信授業]

学習指導書『絵画研究 I・II 平成 29 年度』の「絵画研究 I」を参照。

教科書『絵画—素材・技法—』の第 1 章「デッサン・油彩」、第 3 章「水性絵具」、第 4 章「古典技法」等を参照。

[面接授業]

第 1 日 午前：前提講義及び制作 午後：制作（各古典技法による制作）

第 2～5 日 午前：制作 午後：制作

第 6 日 午前：制作 午後：制作及び採点・講評

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：『絵画—素材・技法—』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

学習指導書：『絵画研究 I・II 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）